

九州の風景の中で感動したものに密柑があります。調査に行った時、密柑畑のすぐ横を通る機会がありました。密柑の木にびっしりと黄色い実がなっているのを見た時はとても不思議なそして胸が熱くなるような感動を覚えました。こういう気持ちは北国の人間独得のものかも知れません。今でこそ北海道でも10月頃から密柑は出まわっていますが、子供の頃は、密柑は正月に木箱に入っているのを買ってくるのが習慣でした。密柑とは家で釘抜きで板をはがすときちんと列状に入っているものという感じが強く、たまに青い小さな葉が付いていると、子供達で奪い合いしたものでした。こちらの学生はりんごの実がなっているのを見たいと言っていますが、密柑は子供の時の正月、冬休みを思い出させるものであり独得のものです。密柑畑の感動は一生忘れられないものです。

以上、断片的にいくつか述べてきました。西沢先生を始め、周囲の人達に恵まれ、貴重な数々の経験をすることができました。お世話になった方々へのお礼をかねて、九州における生活を報告しました。

### 13. インドネシア・東カリマンタンにおける森林調査システムの効率について

九大農 SOEYITNO SOEDIRMAN

(ソエイトノ・ステルマン  
インドネシア留学生、院生)

インドネシア・東カリマンタン地方には、約1,700万haの熱帯降雨林が存在し、その約70%が経済林である。樹種は4,000以上であるが、有用樹はほとんどフタバガキ科に属するもので8~10種程度にとどまる。また、全樹種のha当り材積は200 m<sup>3</sup>程度であるが、有用樹種は80 m<sup>3</sup>/ha程度である(いずれも直径50 cm以上の林木についてのみ)。

1967年以前、東カリマンタンでは、森林資源の利用はほとんど行われていず、森林の近辺の住民が手斧で必要量を伐る程度であった。1967年以降は輸出のために伐採が行われるようになった。一方、政府も民間企業に対して、面積1万~80万haの森林を分割して、森林利用伐採権を与えている。そして伐木集運材も、従来の筏流しによる方法から、大規模な機械化へと変わった。

このような変化の中で、森林経営計画制度は20年間にわたる長期森林経営計画、5年間の中期森林経営計画、各年森林経営計画、の3段階となった。

各年森林経営計画の樹立に際して、基礎資料を与える調査方法としては、森林の20%の面積を調査する方法が一般的であったが、1973年以降は政府の要請により全森林面積の調査を行うようになった。

そこで、私が取り組んでいる研究は、全林調査は真の立木材積、立木本数等を与えてはくれるが、費用と労力がかかることはもちろん、森林の特色として有用樹種の占める割合が少ないこと、および択伐が行われていること等のために、森林の何%を抽出してストリップ調査するのが、費用と推定精

度の両面から最も効率的であるかを検討するのがテーマである。なお、現地調査に際し、直径は根張りのない林木は地上高 1.3 m、根張りのある林木では根張りの上部 0.3 m を測定する。樹高は利用可能樹高である。また、直径 50 cm 以上が収穫対象林木、35～49 cm の林木は 30 年後の伐期対象林木として取り扱う。

(原題 Study on analysis of forest inventory system, 要訳・増谷利博)

## 14. タイの林業の紹介

九大農 CHAINARONG STHONNOPABUTR

(チャイナロン・ソートンノパブ  
タイ国留学生、院生)

### ☆はじめに

タイは東南アジアのインドシナ半島にあり、約 5,140 万 ha の面積を有する。タイの人口は急速に増加している。1977 年の中期では 4,404 万人と推定され、1976 年に対する増加の割合は 2.6 % である。国の経済は堅実に発展しており、とりわけ農林水産業がその基盤である。それらの産業は国内総生産の約 38 % を示している。林業では、丸太、製材品、家具とタイの伝統的工芸品、これらはすべてチークであり、チークの輸出は全輸出の 11 % だったが、木材の輸入が徐々に増すにしたがってチークの輸出は従来の 40 % に減少した。木材輸出の減少は、耕地の急速な伸張にともなう森林面積の減少として説明される。1974 年には森林面積は 52.63 % から 38.61 % になり、実質 13 年で 14.02 % の減少である。現在の森林面積は全国土面積の 25～30 % と推定されている。

### ☆森林資源

タイは地理的に 5 つの地区、すなわち北西高原地区、北西地区 (Korat 高原)、中央地区 (Chao Praya 平原)、南東地区 (Chantaburi 地方)、そして南地区 (半島部) に別けられ、政策的には 72 の地方に区分されている。タイのほとんどのチークの林は北西高原地区にあり、常緑林は普通南東地区と南部地区全体にまたがっている。

森林型……タイの森林は大きく 2 つのカテゴリー、すなわち常緑樹林と落葉樹林に分けることができる。

#### a) 常緑樹林

##### a-1) 熱帯常緑樹林

###### a-1-1) 熱帯降雨林

###### a-1-2) 乾性または半常緑樹林

###### a-1-3) 丘陵または低山地林